

古墳時代から現代まで
死とそれに向き合う人々の歴史

令和8年度企画展

吊いの歴史

多賀城市内の
埋葬制

関連講演会

掘り出された近世墓は語る

ー形質人類学と考古学が解き明かす大日北遺跡ー

高橋地区で見つかった大規模な江戸時代の墓地の調査成果をわかりやすく解説します。

当時の高橋村の人たちはどんな身体的特徴があったの？

葬式の道具はどんなのもの？ なにを一緒に埋めていたの？

気になる疑問にお答えします！

令和8年11月29日（日） 14時から16時

会場 多賀城市民会館小ホール

講師 波田野 悠夏 氏（東北大学学際科学フロンティア研究所企画部特任准教授）
武田 健市（多賀城市企画経営部文化財課長）

参加料 無料

定員 200人（先着順）

申込み 10/1（木）から電話または申込みフォーム

電話 022-368-0134

2026

10.3土 - 12.20日

会場 多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室
(多賀城市文化センター内)

時間 9:00 - 16:30

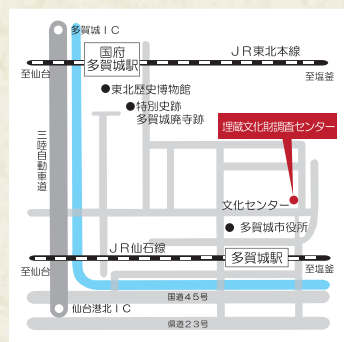
休館 月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日（土日を除く）

観覧無料

多賀城市埋蔵文化財調査センター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央二丁目 27-1

Tel 022-368-0134



HP
多賀城市の文化財



Instagram
多賀城市の文化財

主催：多賀城市

弔いの歴史

多賀城市内の葬墓制

古墳時代から現代まで
死とそれに向き合う人々の歴史

死はいつの時代も変わりなく人々に訪れる普遍的なものです。死者の弔い方や送り出す側の向き合い方は時代によって変化しています。

本展示では、市内の葬墓制の歴史について、古墳時代から現代に至る幅広い時代を取り上げながら紹介します。同じ多賀城市域でも時代ごとに大きく異なる死者との関わり方があり、それらを知ることは、今を生きる私たちの死に対する「当たり前」を見つめ直すことにつながります。

古墳に眠る権力者

古墳時代には、地域ごとに力を持った豪族の墓として古墳や横穴墓が作られ、豪華な副葬品が収められました。



稲荷殿古墳

大代横穴墓群

こんどうそうかぶつちのたち
金銅装頭椎大刀



多賀城周辺の墓地 - 古代の被葬者 -

多賀城が設置されると、まち並みの整備も本格化します。

まち並みの住民のものと思われる土坑墓や副葬品の土器が見つかります。



山王遺跡

土坑墓と出土土器



市川橋遺跡

極楽浄土への憧れ - 中世の供養のかたち -

多賀城の機能が衰退し、「多賀国府」が登場するようになる時代です。

人々の極楽往生への願いが込められた墓・石碑や、資料が残されるようになります。



南安楽寺古碑群

新田地区

大日南遺跡



副葬品の古銭

西沢遺跡



鉄鍋をかぶせて供養した墓

近世の葬墓制

大日北遺跡では、江戸時代の墓70基や、葬具・副葬品が見つっています。

また、古文書からは、葬儀に組織的に多くの人々が関与していた様子が分かります。



江戸時代の墓

大日北遺跡

葬具・副葬品



天童家文書（念仏講）

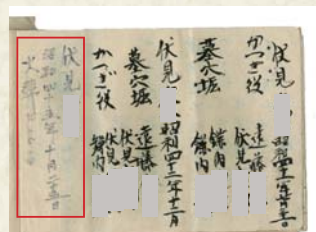


変化する弔いのかたち

火葬や葬儀社の利用の普及など、葬墓制は大きく変化しました。家族単位での死者との別れが行われるようになります。



自宅での葬儀
(高橋地区)



「火葬」の文字
(契約講記録（新田地区）)



葬式用の旗（南宮地区）

古墳時代

奈良時代
平安時代

鎌倉時代
南北朝時代
戦国時代

江戸時代

明治時代
大正時代
昭和時代